

支え合い通信

No.4

仕事や家庭以外に外に出て、
誰かと会って、
気軽に話を楽しめる“場所”は
ありますか？



つなげよう！
広げよう！
みんなの
“居場所”

来る前よりちょっと元気になって
帰れる場所。

『困ったときはお互い様！』と
言える誰かとつながれる場所。
そんなちょっとした場所を
あなたが持っていることが、
日頃から支え合える関係を作るため
に、とても大切になっています。



今号の内容

- 支え合いの地域づくりが始まっています
…協議体の取り組み紹介

誰もが住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けることができるまち そんなまちを目指して、支え合いの地域づくりがはじまっています。

超・超高齢社会となっている現在の陸前高田市。誰もが住み慣れた地域でいつまでも住み続けることができるまちを目指して、地区コミュニティ推進協議会単位で協議体が設置されています。各地区の取り組みを紹介します。

下矢作地区

暮らしの困りごとを整理する



協議体の参加者

コミュニ
ティ推進
協議会

自治会
町内会
区等

民生委員

保健
推進員

社会福祉
協議会

地域包括
支援セン
ター

生活支援
コーディネ
ーター

地域支え
合い
推進員

下矢作地区はコミュニティ推進協議会と設置方法について考えることから始まり、今年度設置されました。

会議参加者の多くが女性という事もあり、日々の生活の中での困りごとについて、みんなで出し合う事から始めています。困りごとをそのままにしないために、みんなで整理しながら、地域としてできる事を考えています。

矢作地区

免許返納後の暮らしを考える



協議体の参加者

コミュニ
ティ推進
協議会

公民館

民生委員

保健
推進員

社会福祉
協議会

地域包括
支援セン
ター

生活支援
コーディネ
ーター

地域支え
合い
推進員

矢作地区は話し合いを始めて2年目。高齢者の集まりを訪問して拾った声をもとに、何から話をするか？をみんなで考えるところからはじまりました。

高齢独居や空家の事など地域の困りごとはたくさんありましたが、免許返納後の移動をテーマにして、どんなことがあったらいいのか、誰ができるのかなどを話し合っています。

横田地区

いまあるものを有効活用する



協議体の参加者

コミュニ
ティ推進協
議会

自治会
町内会
区等

民生委員

保健
推進員

地域包括
支援セン
ター

生活支援
コーディネ
ーター

地域支え
合い
推進員

横田地区は3年目。高齢になっても元気に働く人が多く、「生涯現役を目指して、普段着であつまれる居場所とつながり～結文化回覧もってごあいさつ～」をスローガンに掲げました。

地域の困りごとの解消に向けて、既にある制度やサービスを活かし、使い方やどんな人が対象になるのかなどの勉強会を開催しています。

竹駒地区

肩ひじ張らない支え合いへ



協議体の参加者

竹駒地区の協議体は2年目。「肩ひじ張らない支え合い」をテーマに、地域と高齢者の現状、課題を参加者で共有することからはじめています。

また、高齢者の社会参加のためには今ある活動を後押しする事が大切だと考え、集まりの場の情報を集めた「竹駒地区のちっちな集まり」というチラシの作成にも取り組んでいます。

コミュニティ推進協議会

自治会
町内会
公民館等

民生委員

地域包括
支援セン
ター

生活支援
コーディネーター

地域支え
合い
推進員

高田地区

みんなが交流する機会づくり



協議体の参加者

高田地区の協議体は、元々地域で取り組まれていた「高田地区市民会議」の集まりを活用しています。

高齢者はもちろん、人のつながりが無くては支え合う事が出来ないと考え、人が集まり交流するきっかけをつくりたいと、交流機会づくりに取り組んでいます。今年度は、震災後初めての「復活！高田町ミニ運動会」を開催しました。

コミュニティ推進協議会

自治会
町内会
公民館等

地域包括
支援セン
ター

生活支援
コーディネーター

地域支え
合い
推進員

小友地区

健康とつながりを密に



協議体の参加者

小友地区の協議体も2年目です。支え合うことを当たり前のこととしつつ、今後は子どもが少なくなることも見すえて、地域に生活する人の健康とつながりを密にするために、現状把握を丁寧にする事が大切と考えています。

協議体では、参加者それぞれが知っている地域の情報の共有からはじめています。

コミュニティ推進協議会

自治会
町内会
区等

民生委員

地域包括
支援セン
ター

生活支援
コーディネーター

地域支え
合い
推進員

協議体は地域支え合い活動推進事業の一環として、安心して暮らせる地域をつくるために、地域の良いところや困りごとを持ち寄り、どんな支え合いをしていくのかを、みんなで知恵を出し合い考える場です。また、単に話し合うだけではなく、自分たちでできそうなことを考えて実践したり、専門家につないだ方がよいことを整理したりもしています。

陸前高田市の取り組み

各地区ごとの協議体での話し合いが進んでいく中で、地域内だけで解決するのが難しいが出てきています。本市では、この困りごとを関係各所に届ける場を設置しております。令和元年度は2回開催しました。

1 地域の困りごとを関係者と共有

令和元年9月26日に開かれた第1回協議体会議では、事業の説明のあと、各地区の協議体の取り組み状況と、どんな困りごとが話し合われているのかなどが、地域支え合い推進員から共有されました。また、関係機関、部署からは、地区からあげられた困りごとに対して、市が現在取り組んでいることが共有されました。

サロンやお茶っこの取り組みなど現在取り組んでいることと、介護のこと、高齢者の移動の手段などの暮らしの困りごとについて、参加者同士で意見を交わしました。



協議体の参加者

地域支え
合い
推進員

市保健
福祉課

市まち
づくり
推進課

社会福祉
協議会

生活支援
コーディネーター

・地域包括
支援センター
・国保介護係
・生活環境係
・コミュニティ係

2 支え合いをみんなで考える

令和2年2月17日に開かれた第2回は、各地区の協議体であげられた地域の困りごとを整理し、「見守り体制づくり」、「集まりの場づくり(関係づくり)」、「移動手段づくり」、「担い手づくり」の4つに取り組んでいきたいことを共有しました。

グループワークでは、暮らしの困りごとを解消するためにできたらいいなと思うこと、そのために今取り組んでいることをそれぞれの立場から出し合いました。また、みんなで協力したらできることについても協議し、たくさんのアイデアが生まれました。



協議体の参加者

地域支え
合い
推進員

市保健
福祉課

市まち
づくり
推進課

社会福祉
協議会

生活支援
コーディネーター

・地域包括
支援センター
・国保介護係
・生活環境係
・コミュニティ係

できることから、できる人が、できる範囲で、はじめましょう
何気ない支え合いが、安心して暮らせる地域につながります